

令和六年度 第二学期始業式 校長式辞

おはようございます。二学期始業に際し、式辞を述べます。

この夏休み、大きな事故や怪我等の報告もなく、皆さんが元氣な姿で、再び海洋高校の学び舎に集えたことをうれしく思います。

この後の伝達表彰にあるとおり、パリオリンピックの日本選手だけでなく、海洋生の、インターハイ入賞者も含めた活躍が大変多くあり、またコンテストや大会に出なくても、暑い中、がんばった人も多くいました。大変うれしく思っているところです。

本日は一点だけ、環境問題についてです。

大変暑かった夏休み期間でした。特に、先月七月の全国の平均気温は、平年と比べて二、一六度高くなり、気象庁が（一八九八年に）統計を取り始めてから百二十六年間で最も暑い七月であったということです。この記録更新は、二〇二三年に続いて二年連続ということです。北海道帯広市で四度、東京の都心で三度などの温度上昇がありました。

地球温暖化が原因であろうとされています。

今年の夏は特に、川や海で水難事故により亡くなる人の報道が多かったと感じています。皆さんは「海猿」という映画を知っていますか？これは、海上保安官が、大変困難を伴う海での人命救助に挑む内容ですが、もともとはマンガだったそうです。

私の夏休み中の出張の中で、その「海猿」の原作者（つまり物語をつくった人）である小森 陽一さんとお会いする機会がありました。

小森さんのように「作家」という職業の方と、会話をさせていただいたのが初めてでしたが、物事を見る鋭い視線、気づく力、会話力など、私自身の視野が広がる、学ぶものが大変多く新鮮な気持ちになりました。

小森さんとは、いろいろなことを話しましたが、その中で、「海猿」の物語を作った後、温暖化を含む地球環境の問題についてを扱うマンガをつくられたそうです。その結果、日本では全然売れなかったのですが、ヨーロッパでは、大変よく売れた。という話をされていました。

つまり、日本人は環境問題について、大変関心が低いのだということを仰っていました。

海洋高校では、海をフィールドに環境についても学習しています。皆さんも、温暖化を含む環境問題には、是非、課題意識を持っていただければと思います。

環境問題が大変課題となっている中で、海ごみの活用をされている企業があります。その中で、奈良県に「リングスター」という会社があり、釣り具箱（ルアーケース）など、プラスチック製品を手がけられています。

その経営者の唐金さんという方が、海岸に打ち上げられるプラスチックごみを活用した商品を開発しようとされましたが、ごみの分別や洗浄にコストがかかる、一定の品質の物がそろえられない、また紫外線や波の衝撃で劣化が激しい、などの理由から、多くの会社は敬遠されているおり、社員からも反対されたそうです。

しかし、唐金さんは、手で海岸のごみを集めている子どもたちや漁協の職員、ボランティアの方たちを「助けたい」さらには、「できないと、初めからあきらめてはいけない。」という気持ちで、社員の反対を押し切りながらも、研究と改良を重ねた結果、海ごみを混ぜたプラスチックの商品化に成功されています。

皆さんも、「無理だから」とか、「どうせできない」とあきらめずに、「どうしたらできるか」という前向きな気持ちや意欲を持って、学習や部活動、進路の取組などに挑戦してい

ただきたいと思います。

結びになりますが、台風十号が接近中です。可能な限り、予定どおりの学習活動、学校祭の準備等を行いたいですが、急な予定変更をしなければならいかも知れません。

本校は、海上での実習や潜水等、危険を伴う実習が多い特徴があります。災害や事故から身を守る。交通安全なども含め、日頃から安全確保を心掛けること、この意識は常に大切にしてください。

一年で最も長い二学期が始まりました。

二学期の終業日は、台風等による臨時休校がなければ、十二月二十日（金）を予定していますが、年末の時期、季節が大きく移ろい、雪が積もるような季節になるほどの時期で、二学期は長く行事も多いです。

三年生は、就職希望の人は、九月中旬からの就職試験に臨みます。進路決定の時期、就職でも進学でも、高校生活の先に、自分の豊かな人生を築くという、人としての使命と覚悟を定めて、それぞれが歩む道、すなわち、目指す進路をしっかりと掴んでください。その過程を後輩たちや先生方（教職員）は見ています。

二年生は、この二学期、一年後に迫る進路の決定を視野に、目指す進路を展望しながら、普通科の学力を伸ばす時期、また、学科・コースの学習や実習にも慣れ、本格的な資格取得や専門実習を通じて、専門力を大いに伸ばす時期であります。研修旅行もあります。

一年生は、二年生以降の学科・コース決定の大切な時期となり、部活動でも中心になっています。

それぞれが、一日一日、一時間一時間の授業など、一瞬一瞬に魂を込め、限りある貴重な時間を、自分と仲間の成長のために必死に頑張ってください。

お互い、心身共の健康維持に努めながら、学習や部活動・運動、読書、資格取得、進路の活動、研究探究活動などに前向きな姿勢で取り組み、満足できる二学期の終業式を迎えられることを期待しています。

以上、二学期始業式の式辞とします。

令和六年八月二十八日

校長 上林 秋男